



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月29日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7477 URL <https://www.muraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 加瀬 光二 TEL 042-357-5610
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,579	△3.2	103	△4.1	115	△3.7	66	△10.9
2019年3月期第3四半期	5,763	△6.1	107	20.0	119	19.3	74	33.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 69百万円 (21.6%) 2019年3月期第3四半期 57百万円 (△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	46.59	—
2019年3月期第3四半期	52.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	4,124	2,234	54.2
2019年3月期	4,255	2,178	51.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,234百万円 2019年3月期 2,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	5.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,288	△1.1	77	△2.1	89	△6.9	30	△43.0	21.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	1,470,000株	2019年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	50,301株	2019年3月期	50,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	1,419,699株	2019年3月期3Q	1,419,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に弱さがみられるものの、政府の経済政策や金融政策の効果により、企業の収益改善や雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、相次ぐ自然災害や消費増税後の消費動向などが景気の下振れリスクとして懸念されています。一方、世界経済においては、米中通商問題や中国経済の先行き不安、英国のEU離脱問題、日韓関係などの長期化の影響により依然として先行き不透明な状況が続いています。また、米国とイランの対立激化等にも一層の留意が必要な状況となっております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においては、大手石油元売会社の再編も一段落し、需給の適性化は進み、市況は概ね安定しております。こうした中、次世代への新たな展開を模索する動きが加速し、地域社会や消費者が求める多様な商品、サービス、事業の検討や導入を積極化させております。

このような環境のもと、当社グループのSSにおけるカーケア関連商品の売上に関しましては、燃料価格の高止まりに加え、10月からの消費増税が追い討ちをかけ、より厳しい環境下で推移しました。当社の主力商品であるオイルフィルター、ワイパーブレード及びバッテリー(機能部品)もその影響を受け予想を下回る結果となりました。洗車関連品は引き続き順調な伸びを示しております。また、「あおり運転」対策として道路交通法の改正案が発表されたことも寄与し、ドライブレコーダーの売上は好調に推移しました。今後も安全運転装備に関する商品及び快適新空間に関する商品の営業活動を推進してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 5,579百万円(前年同期比 3.2%減)、営業利益 103百万円(前年同期比 4.1%減)、経常利益 115百万円(前年同期比 3.7%減)、法人税等 49百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は 66百万円(前年同期比 10.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は 3,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ 115百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が 59百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が 267百万円増加したこと、商品及び製品が 226百万円減少したこと、その他のうち、未収入金が 77百万円減少したこと等によるものです。固定資産は 1,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ 15百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が 8百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は 4,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ 130百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は 1,378百万円となり、前連結会計年度末に比べ 16百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 174百万円増加したことと、1年内返済予定の長期借入金が 146百万円減少したこと等によるものです。固定負債は 512百万円となり、前連結会計年度末に比べ 202百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 200百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 1,890百万円となり、前連結会計年度末に比べ 186百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ 55百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が 51百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は 54.2%(前連結会計年度末は 51.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日付「2019年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,443,330	1,384,028
受取手形及び売掛金	956,122	1,223,622
商品及び製品	632,465	405,957
その他	138,976	41,923
貸倒引当金	△493	△135
流動資産合計	3,170,402	3,055,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	799,259	799,259
減価償却累計額	△739,425	△743,153
建物及び構築物(純額)	59,833	56,106
機械装置及び運搬具	8,245	1,092
減価償却累計額	△8,099	△962
機械装置及び運搬具(純額)	145	130
土地	480,711	480,711
その他	149,175	134,703
減価償却累計額	△126,265	△117,593
その他(純額)	22,910	17,110
有形固定資産合計	563,600	554,057
無形固定資産		
のれん	70,754	67,633
その他	3,834	3,819
無形固定資産合計	74,588	71,452
投資その他の資産		
投資有価証券	134,323	138,956
差入保証金	292,089	292,973
繰延税金資産	13,185	4,374
その他	10,076	10,364
貸倒引当金	△2,668	△2,663
投資その他の資産合計	447,006	444,004
固定資産合計	1,085,196	1,069,514
資産合計	4,255,598	4,124,911

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	775,274	949,308
1年内返済予定の長期借入金	440,815	293,898
未払法人税等	33,677	25,579
賞与引当金	33,704	6,684
その他	78,281	102,886
流動負債合計	1,361,752	1,378,355
固定負債		
長期借入金	372,279	171,810
役員退職慰労引当金	38,730	42,640
退職給付に係る負債	278,999	272,742
繰延税金負債	21,495	21,495
その他	3,760	3,760
固定負債合計	715,263	512,447
負債合計	2,077,015	1,890,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	220,838	272,783
自己株式	△47,732	△47,732
株主資本合計	2,172,410	2,224,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,171	9,752
その他の包括利益累計額合計	6,171	9,752
純資産合計	2,178,582	2,234,108
負債純資産合計	4,255,598	4,124,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,763,358	5,579,509
売上原価	4,388,196	4,252,332
売上総利益	1,375,162	1,327,176
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	612,640	598,319
賞与引当金繰入額	6,852	6,684
役員退職慰労引当金繰入額	6,010	5,910
賞与	12,200	12,836
退職給付費用	16,803	13,941
その他	612,876	586,161
販売費及び一般管理費合計	1,267,381	1,223,852
営業利益	107,780	103,324
営業外収益		
受取利息	1,071	1,174
受取配当金	962	1,199
仕入割引	8,876	9,127
貸倒引当金戻入額	368	365
その他	5,390	3,582
営業外収益合計	16,668	15,449
営業外費用		
支払利息	4,097	2,873
手形売却損	391	433
その他	214	200
営業外費用合計	4,703	3,507
経常利益	119,744	115,266
特別利益		
固定資産売却益	800	31
特別利益合計	800	31
特別損失		
固定資産売却損	859	—
固定資産除却損	271	0
特別損失合計	1,131	0
税金等調整前四半期純利益	119,414	115,298
法人税、住民税及び事業税	41,600	41,925
法人税等調整額	3,546	7,231
法人税等合計	45,146	49,156
四半期純利益	74,268	66,142
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,268	66,142

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	74,268	66,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,953	3,580
その他の包括利益合計	△16,953	3,580
四半期包括利益	57,314	69,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,314	69,723
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	カーケア関連 商品販売	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
(1)外部顧客への売上高	5,756,921	6,436	—	5,763,358
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	100	89,250	△89,351	—
計	5,757,022	95,687	△89,351	5,763,358
セグメント利益	104,042	2,837	900	107,780

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」等の事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額 900千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

当社グループは、カーケア関連商品販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。